

# 大阪湾漁場環境速報

平成21年 5月13日発行  
兵庫のり研究所

今回調査は湾北部のみで、その他は欠測しました。  
**(水温)** 表層は湾内15~20 台で、平均16.3 。 平年(過去10年平均15.8)比0.5 、 昨年(15.4)比0.9 それぞれ高い。 -10m層は平均14.9 で、平年(14.5)比0.4 高い。 表層塩分の低い調査点ほど、表層と-10m層の水温差が大きく、強い成層が観測された(St.018 6.4 )。  
**(塩分)** 表層平均31.59psu(平年 30.97) 。 -10m層平均32.47psu(平年 32.24) 。  
**(栄養塩、他)** 表層の窒素濃度は平均2.2 $\mu\text{g-at/L}$ 、リン濃度は平均0.12 $\mu\text{g-at/L}$ 。 窒素は平年(5.2)の半分以下の値を示しており、リンはほぼ平年(0.17)並。 -10m層(平均)は、窒素2.0 $\mu\text{g-at/L}$ 、リン0.15 $\mu\text{g-at/L}$ 。 表層塩分が低い湾奥部~神戸空港周辺海域を中心に、シュードニッチアが大量発生しており、湾奥部で強い赤潮を形成している。 先月まで大量発生していることが多かった小型珪藻スケルトネマの発生量は少ない。 また、明石海峡周辺および-10m層(塩分32psu以上)では、レプトシリンドラスがやや多く認められた。 今月調査でも、夜光虫(ノクチルカ)赤潮が神戸空港沖で確認された。 透明度は1.5~5.0mで、平均4.2m。 pHは表層平均8.38。 珪藻赤潮海域では8.8以上の高い値を示している。

上段(今回値)	平成21年5月12日調査
中段(昨年値)	平成20年5月7日調査
下段(平年値)	

調査地点	水温( )	塩分(psu)	三態窒素( $\mu\text{g-at/L}$ )	磷酸( $\mu\text{g-at/L}$ )
04	15.5	32.71	2.0	0.39
	15.9	32.63	2.6	0.19
05	<b>15.5</b>	<b>32.52</b>	<b>1.1</b>	<b>0.12</b>
	15.0	32.28	1.0	0.33
06	15.4	32.17	3.1	0.20
	<b>15.1</b>	<b>32.52</b>	<b>1.9</b>	<b>0.13</b>
07	14.4	32.29	2.3	0.41
	14.8	32.10	4.2	0.23
08	14.9	32.31	1.8	0.37
	15.7	32.09	3.4	0.25
09	15.3	32.22	0.1	0.44
	16.2	32.11	1.5	0.15
10	15.6	32.32	0.4	0.45
	16.1	32.36	3.5	0.26
12	16.0	31.66	0.0	0.34
	16.6	31.22	2.1	0.11
16	17.5	30.29	0.1	0.24
	16.8	30.37	4.4	0.11
18	16.8	30.34	8.3	0.10
	<b>18.0</b>	<b>29.83</b>	<b>2.5</b>	<b>0.11</b>
S1	16.6	29.37	4.6	0.29
	16.4	28.89	11.2	0.16
S2	16.6	28.93	32.0	0.43
	<b>20.5</b>	<b>21.07</b>	<b>17.5</b>	<b>0.35</b>
S3	18.3	22.60	28.3	0.38
	17.3	24.62	33.7	0.66
S4	<b>15.9</b>	<b>32.31</b>	<b>1.3</b>	<b>0.12</b>
	15.3	31.40	0.7	0.28
018	15.8	30.97	3.8	0.13
	<b>17.1</b>	<b>31.03</b>	<b>4.4</b>	<b>0.12</b>
016	16.2	30.20	2.8	0.30
	16.2	30.03	5.6	0.11
017D	<b>16.3</b>	<b>31.33</b>	<b>2.0</b>	<b>0.11</b>
	14.7	32.27	2.0	0.44
017D	16.2	31.69	3.3	0.20
	15.6	32.64	1.3	0.35
013D	15.9	32.93	3.0	0.19



